

**2018年(平成30年)1月オホーツク管内倒産集計**

30年1月6日

株式会社 東亜リサーチ

北見市常盤町3丁目16番42号

Tel (0157) 23-6288

Fax (0157) 24-1033

発生ゼロでスタート 2月以降の動向に注目**2か月連続の月間発生ゼロ**

■前月比	件数	同	数(平成29年12月)	0	件)
	負債総額	同	数("	0	円)
<hr/>					
■前年同月比	件数	1	件減少(平成29年 1月)	1	件)
	負債総額	2,800万円	減少("	2,800万円)	

平成30年1月の発生状況

平成30年1月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生件数がゼロだった。

これは発生がゼロだった前月と比較すると同数。前年同月比では件数で1件、負債総額では2,800万円のそれぞれ増加となった。

12月に続き1月も発生がゼロとなったが、2か月連続で倒産が発生しなかったのは23年9月以来。1月の月間発生ゼロは24年以来となるなど平穏な年明となった。

過去5年間と今年1月の発生推移

過去5年間の1月の発生推移は【下・表】の通りで、過去5年間の1月の発生状況を見てみると25年1件、26年1件、27年2件、28年1件、29年1件となっており、平均件数は1.2件、同負債総額は、25年に水産加工業者の大北冷蔵(株)(紋別市)が8億円、28年にホテル経営の(株)滝沢観光(北見市)が5億9,000万円と比較的大口の倒産発生によって平均値を押し上げ3億480万円となっているが、今年は過去の平均を大きく下回り、低水準を保ったといえる。

過去5年間と今年1月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
25年	1件	8億円
26年	1件	4,600万円
27年	2件	6,000万円
28年	1件	5億9,000万円
29年	1件	2,800万円
30年	0件	0円

30年月別倒産件数・負債額

年月別	件数	負 債 額
1月	0件	0円
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
合 計	0	0円
29年合計	1	2,800万円
前年対比	▲1	▲2,800万円

1月主要因別倒産件数

主要因	29年件数	30年件数
販売不振	1	0
回収難	0	0
過当競争	0	0
連鎖	0	0
計画失敗	0	0
放漫経営	0	0
旧債重荷	0	0
代表死亡	0	0
その他	0	0

1月地区別倒産件数

地区	29年件数	30年件数
北見市	1	0
網走市	0	0
紋別市	0	0
常呂郡	0	0
網走郡	0	0
斜里郡	0	0
紋別郡	0	0

1月業種別倒産件数

業種	29年件数	30年件数
農・林・漁業	0	0
建設	0	0
製造	0	0
卸、小売	0	0
サービス	0	0
飲食・ホテル	1	0
車輛	0	0
運輸	0	0
燃料	0	0
その他	0	0

1月企業形態別倒産件数

企業形態	29年件数	30年件数
株式会社	0	0
有限会社	0	0
特殊法人	0	0
個人	1	0

1月倒産表面化要因別件数

企業形態	29年件数	30年件数
法的処置	1	0
2回目不渡り	0	0
弁護士一任	0	0

今後の見通しと問題点

オホーツク管内は厳冬の閑散期を迎えた。景気の拡大基調は今年も続くとの見通しにあるが、管内は個人消費の回復の足取りは重い。これまで活況だった公共工事は昨年の災害復旧工事増加の反動から減少が見込まれているほか、建築工事も金融環境の変化もあって減少見通しにあるなど懸念材料は多い。

現状マイナス金利の影響によって各企業の資金調達環境は悪くないことから、引き続き倒産件数は低水準で推移すると見られる。

しかし、人出不足や原材料価格の上昇など不安材料は少なくなく、こうした状況が長期化、深刻化することになれば、企倒産件数は底を打ち、増加に転じる可能性も否定できず、2月以降の動向が注目される。